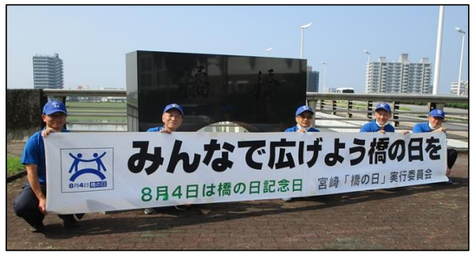
8月4日(ハシ)橋の日

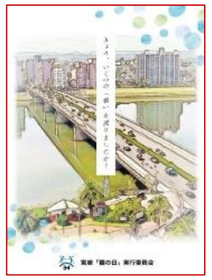
日本記念日協会認定

2020年（令和2年）宮崎「橋の日」実行委員会　活動報告

第34回 宮崎「橋の日」関連イベント写真報告



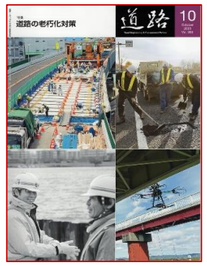
■「橋の日」PR用グッズ、幟旗，
パンフレットなどの広報物制作。



■令和2年12月18日、絵本「とんところ地震」を宮崎県教育委員会を通じて、県内の236の小学校、教育委員会へ寄贈。

本年の「橋の日」活動は、コロナ禍のため、8月4日（火）宮崎市の橘橋にて、役員にて橋への献花のみをおこないました。その他、5つの活動を実施しました。
①県内では、串間市、国富町へ「橋の日」立ち上げの支援　②広報物の充実を図るため、「橋の日」幟旗、パンフレットの作成、橋の日グッズ（帽子）やタオルの作成。YouTubeによる動画配信。③宮崎県教育委員会へ「とんところ地震」絵本寄贈（300冊）　④情報誌「道路」への寄稿　⑤地域のお宝再発見ツアーin県南
⑥デミーとマツの土木広報大賞2020（主催：噂の土木応援チームデミーとマツ、後援：公益社団法人土木学会）において119件の応募の中から優れた活動であることが評価され、当会は、「橋の日」の制定と47都道府県橋の日運動の支援が認められ、優秀賞（イベント部門）3位となり、オンラインにて

■デミーとマツの土木広報大賞2020にて、優秀賞（イベント部門）3位を受賞。（左より大田原会長、森田副会長）



■情報誌「道路」への
記事投稿。

■「とんところ地震」「福島邦成と橘橋」の紙芝居上映を県内各地でおこなっています。

防災掲示板

**外所地震題材に
防災の絵本作製**

宮崎「橋の日」実行委

古い災害の記憶を現代につなぐ〝架け橋〟になろう―。宮崎「橋の日」実行委員会（宮崎市、大田原宣治会長）は、防災学習に活用してもらおうと、絵本「とんところ地震」を作製し、県内の小学校に寄贈した。

絵本は日向灘沖を震源に発生した1662年（寛文２年）の「外所地震」が題材。震度５以上の揺れがあったと推定され、津波で現在の宮崎市熊野を中心に甚大な被害をもたらした。この史実に基づき、同実行委が物語を執筆。延岡市在住のイラストレーター森有美さんが絵を手掛けた。

物語は、少女「はな」が主人公。地震の後、必死で高台に逃げたはなや家族は助かったが、押し寄せた津波で村の風景は一変した。多くの村人が犠牲になっており、避難することの大切さを訴える内容になっている。その後、50年ごとに記念碑を建て増しており、現在も外所地震の記録が残ることにも触れている。

絵本はＡ４判24㌻で、450冊を県と共同作製。昨年12月、県教委を通して小学校全236校や各市町村教委、県立図書館などに配られた。

同実行委は1985年に発足し、会員約40人。橋の役割をＰＲする本来の活動に取り組む傍ら、学校や高齢者施設、防災イベントなどで外所地震を題材にした紙芝居を披露するなど防災の啓発活動も行っている。大田原会長は「身近な場所でも大きな災害があったことを知って、命を自分で守る心構えを育ててほしい」と話している。

（那良卓郎）

本県を襲った自然災害を描いた絵本「とんところ地震」

■とんところ地震の絵本の紹介（宮崎日日新聞）

■県内外の「橋の日」活動支援（今年から実施された「橋の日」活動）

当会では、活動に必要な資料などの情報のほか、幟旗の提供を複数年にわたり支援を続けています。

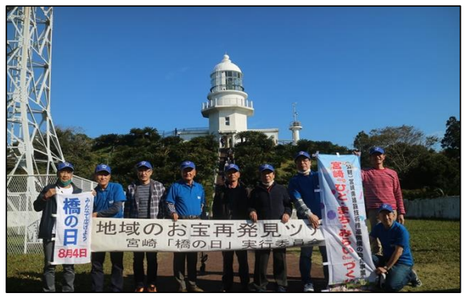
宮崎県串間市
（福島大橋）

沖縄県宮古島市
（伊良部大橋）

滋賀県大津市
（琵琶湖大橋）

愛知県：豊橋市立図書館
（資料展示）

・情報提供など：県内市町村ほか、北海道、岩手県、宮城県、新潟県、東京都、長野県、愛知県、滋賀県
京都府、和歌山県、高知県、福岡県、熊本県、鹿児島県、沖縄県



■地域のお宝再発見ツアーin宮崎県南

11月28日（土）～11月29日（日）。今年で9回目となるツアーは、宮崎県南地区の土木遺産、歴史遺産などを見学しました。宮崎市大淀川橋梁、青島神社、日南市飫肥地区、油津地区および鞍崎灯台、山仮屋隧道、串間市では都井岬灯台、赤池発電所を巡りました。

■YouTubeにて、動画配信しています。

「橋の日」の歌

「とんところ地震」
絵本読み聞かせ
（UMKテレビ宮崎）

宮崎「橋の日」実行委員会
事務局　担当：鶴羽（つるは）
〒880-0212　宮崎市佐土原町下那珂2574-6
連絡先：090-9566-4159
FAX:0985-72-2730

橋の日　検　索